

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	あり
----	----

応募概要	分野	音楽	種目	オーケストラ等
	応募区分	特別エリア区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	がっこうほうじん おおさかおんがくだいがく		
	制作団体名	学校法人 大阪音楽大学		
	代表者職・氏名	理事長 北野 徹	団体ウェブサイトURL	
			https://www.daion.ac.jp/	
	制作団体所在地	〒 561-8555	最寄駅(バス停)	阪急宝塚線 庄内駅
		大阪府豊中市庄内幸町1丁目1番8号		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	かんげんがくだん		
	公演団体名	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団		
	代表者職・氏名	ザ・カレッジ・オペラハウス館長 北野 徹	団体ウェブサイトURL	
			https://www.daion.ac.jp/campus/opera/opera-orchestra/	
	公演団体所在地	〒 561-8555	最寄駅(バス停)	阪急宝塚線 庄内駅
		大阪府豊中市庄内幸町1丁目1番8号		
	制作団体 設立年月	大正4年 10月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		理事長 / 北野 徹 常任理事 4名、理事5名、監事2名、 評議員22名	《ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団》※別添あり 構成員51名、事務局員6名 加入条件:採用オーディションによる	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	オーケストラマネージャー 木全 美和
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	連携・演奏事務部門長 古賀 章太
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		oh.orch@daion.ac.jp		0663362001

制作団体沿革・
主な受賞歴

1915年 創立者永井幸次により、大阪音楽学校を開校。
1988年 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団発足。
1999年 (オペラハウス管弦楽団)東京文化会館と滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにて、黛敏郎作曲「金閣寺」を上演。
2000年 オペラハウス管弦楽団の演奏が評価され、「第20回音楽クリティック・クラブ賞」を受賞。
2005年 (オペラハウス管弦楽団)松村禎三作曲「沈黙」の再演で文化庁芸術祭大賞を受賞。
2009年 (オペラハウス管弦楽団)学校巡回公演事業、参加開始。以降
2014年 文化庁委託事業「平成25年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として「ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団・新国立劇場合唱団合同演奏会とオペラ合唱ワークショップ」を開催。
2021年より発足したジュニア・オーケストラ(大阪音楽大学附属音楽院統括)にて、楽団正指揮者、コンサートマスター、楽団員が講師として指導にあたる等、未来の文化芸術を担う子供たちの育成にも力を注いでいる。
2024年 (オペラハウス管弦楽団)第63回定期演奏会《モーツァルト/劇場支配人・サリエリ/はじめに音楽、それから言葉》が第22回佐川吉男音楽賞を受賞。

名誉指揮者に飯森範親、山下一史、チャン・ユンスン、正指揮者に牧村邦彦を擁している。
公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。

学校等における
公演実績

◆学校巡回公演事業
・令和2年度 「文化芸術による子供育成総合事業」6公演
「子供のために文化芸術体験機会の創出事業」5公演

・令和3年度 「文化芸術による子供育成総合事業」14公演
「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」2公演

・令和4年度 「文化芸術による子供育成推進事業」12公演
「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」6公演

・令和5年度 「舞台芸術等総合支援事業」 A区分7公演／C区分8公演

・令和6年度 「舞台芸術等総合支援事業」 A区分7公演／C区分7公演

・令和7年度 「舞台芸術等総合支援事業」 C区分3公演(予定)

上記ほか、大阪市内小学校での音楽鑑賞会や学校公演(大阪市青少年芸術体験事業)や
2012年には、被災地支援コンサートとして、石巻市・女川町などでの学校公演も実施。

特別支援学校等における
公演実績

ワークショップ・公演実施にあたり、開催校からの要望や状況をヒアリングし、
特別プログラムや時間の短縮など、各学校に合わせて柔軟に対応し実施している。

・平成30年度 「文化芸術による子供の育成事業」 広島県立庄原特別支援学校

・令和3年度 「文化芸術による子供の育成総合事業」 滋賀県立野洲養護学校(C区分)

・令和4年度 「文化芸術による子供の育成推進事業」 滋賀県立野洲養護学校(A区分)

・令和7年度 「舞台芸術等総合支援事業」 京都府立丹波支援学校(C区分、予定)

申請する演目のWEB公開資料

無

※公開資料有の場合URL

※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード

ID:

PW:

【公演団体名】 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○	中学生	○			
企画名	オペラハウスへようこそ！～オーケストラとオペラのひみつ～						
企画のねらい	オペラハウスとは、歌とオーケストラによって壮大な物語が描かれる、特別な空間です。この企画では、オーケストラやオペラに初めて触れる子どもたちに、まるで本物のオペラハウスに足を踏み入れたかのような体験を届けることを目指しています。子どもたちにとって最も身近な音楽である「歌」。マイクを使わず会場全体に響き渡るオペラ歌手の歌声と、それを支えるオーケストラのサウンドとが一体となる空間を体感することは、子どもたちにとって特別な経験となります。 また、未知の芸術に触れることで生まれるさまざまな感情は、子どもたちの豊かな感性を育みます。オーケストラと子ども達との「共演」を通し、多くの人が協力し、一つの音楽を創り上げる喜びと感動を共有できる場にしたいと考えています。音楽をただ“知る”のではなく、“感じる”、“関わる”という体験を通して、子どもたちの想像力・表現力・共感力を育み、豊かな心の成長につなげていきたいと考えています。						
演目概要・演目選択理由	・緻密で凝縮されたサウンドや、より一体感を感じる空間など、小編成のオーケストラならではの魅力をお届けします。 ・オープニングは学校の運動会でも耳にしたことのある「ウィリアムテル」。子ども達のワクワク感を引き出します。 ・音楽教材にも取り上げられている「アルルの女」をメインに、前半は鑑賞中心、後半は体験中心とメリハリのある構成にしています。 ・楽器紹介では、それぞれ楽器の音色を紹介します。 ・歌手2名による「オペラアリア、デュエット」では、「魔笛」「トゥーランドット」「カルメン」などから名曲を選曲します。マイクを通さずとも体育館いっぱいに響く力強い歌声や、女性・男性それぞれが持つ歌声の魅力を体感していただきます。 ・校歌をオーケストラ版へアレンジ。よく知っている曲でも、様々な楽器によって多彩な音色に変化した違いを感じていただきます。						
児童・生徒の参加または体験の形態	オーケストラとの共演は3曲。共演コーナーでは、学校のご要望に応じて選択いただけます。 ①開催校校歌(全校) 学校の校歌をオーケストラ版に編曲し、児童・生徒の皆さんと一緒に歌っていただきます。 ②指揮者体験(代表者3名) 全員で指揮のレクチャーを受けた後、代表者がオーケストラの指揮に挑戦！ ③共演コーナー(全校) A. 合唱 ワークショップでオペラ歌手の歌唱指導を受けた曲目をオーケストラの伴奏で歌います。 B. 手拍子リズム ワークショップで作った“学校オリジナルのリズム”を刻み、オーケストラと共演！						
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	～300名程度				
		鑑賞人数目安	～300名程度				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	■第1部 ・ロッシェニ／歌劇「ウィリアムテル」より 序曲“スイス軍の行進” ・【楽器紹介】各楽器をお話しと演奏を交えながら紹介 ・ビゼー／「アルルの女 第2組曲」より “メヌエット” ・オペラ・アリア 2曲、デュエット 1曲 ※出演歌手によって演奏曲目は異なります 例)「魔笛」夜の女王のアリア、「トゥーランドット」誰も寝てはならぬ、「カルメン」闘牛士の歌、「魔笛」パパパの二重唱 等から選曲 ■第2部 共演①♪開催校校歌 共演②♪指揮者体験 ビゼー／歌劇「カルメン」より 前奏曲 共演③♪A～Bの中から1曲を選択 ※合唱は、学校の希望曲に相談も可能です。 A.合唱 杉本竜一／ビリーヴ 村井邦彦／翼をください B.手拍子リズム ・ビゼー／「アルルの女 第1,第2組曲」より “カリヨン” “ファランドール” アンコール オッフェンバック／喜歌劇「天国と地獄」より 序曲						
	公演時間	85～90	分				
出演者	指揮／牧村邦彦 他（予定） 歌と司会／歌手2名 端山梨奈、古瀬まきを、内藤里美、竹内直紀、迎 肇聡 他(全て予定) 管弦楽／ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団(変則1管3型) 25名						
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度	指揮／牧村邦彦(予定) ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者。ウィーン国立音楽大学にてO・スイトナー氏に師事。オペラの指揮を活動の中心とし70作品以上のレパートリーを持ち、国内で最もオペラ指揮活動の多い指揮者の一人である。 ソプラノ／端山梨奈(予定) 2008年びわ湖オペラビエンナーレ「フィガロの結婚」でデビュー。「魔笛」「こうもり」「ラ・ボエーム」「ばらの騎士」「アイダ」など多数のオペラに主要キャストで出演。宗教曲のソリストやミュージカル等幅広いレパートリーを持つ。神戸市混声合唱団所属。 バリトン／迎 肇聡(予定) これまでに「フィガロの結婚」「セビリアの理髪師」「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」等に主要キャストで出演するほか、びわ湖ホール、兵庫県立芸術文化センター等の主催オペラ公演に多数出演。びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	28	名	運搬	積載量:	2	t
	スタッフ:	7	名		車 長:	6.3	m
	合 計:	35	名		台 数:	1	台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去
	9:00	9:00～12:00 *リハーサル時間含む		13:30～15:00	15分	15:00～16:00
	※本公演時間の目安は、概ね2時間分程度です。					
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月	8月		9月
	10日		8日	0日		10日
	10月		11月	12月		1月
	21日		8日	15日		16日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計		88日
<div>  <p>・体育館のフロア面を使用して演奏いたします。 舞台設置に必要な広さ【幅 約10m、奥行き 約8m】 ステージ上と舞台袖は、楽器ケース置き場として使用。 ・午前公演の場合、前日仕込み(1時間程度)が必要です。</p> </div> <div> <div>  <p>楽器紹介(弦楽器)</p> </div> <div>  <p>共演♪指揮者体験</p> </div> <div>  <p>オペラ歌手の歌声を間近で体感</p> </div> <div>  <p>共演コーナー♪合唱</p> </div> </div> <div> 公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) </div> <div> ※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」 </div>						
著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続の要否		該当あり	該当コンテンツ名		共演③で学校の希望曲を編曲する場合、許諾手続きが必要になる可能性有
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況	採択後手続き予定	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 】

ワークショップのねらい

まずは“知ること”によって子ども達の興味・関心を刺激し、本公演への期待感を高めることを目指してワークショップを実施します。

まず初めにアンサンブルの演奏を聴いていただくことで、子ども達の集中力や興味を掻き立てます。最初に演奏を聴いていただくことが効果的な導入となり、オーケストラや楽器紹介など積極的に学ぶ態勢に繋がります。共演曲指導については、プロの演奏者の指導を受けることで音楽の変化を感じ、本公演に向けて参加者全員の意識を高めます。

質問コーナーでは、子供達と演奏者との交流を図り、「音楽家」そのものへの興味関心へつなげ、演奏者や歌手を身近に感じてもらうことも意図しています。

児童・生徒の参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

～300名程度(会場収容範囲内で)

ワークショップ実施形態及び内容

オーケストラの演奏者4名が同い、2時限程度(約95分)で実施いたします。

※授業時間や参加人数に合わせて、時間短縮2回での実施も可能です。

●オープニング

まずワークショップの導入として、アンサンブル演奏を聴いていただきます。

●オーケストラの構成について

楽器編成や、オペラオーケストラの特色について、解説します。

弦・木管・金管・打 それぞれにキャッチコピーを付け、編成について楽しく学びます。

●楽器紹介

スライドを使い楽器の構造について解説します。弓毛(馬のしっぽ)やリードを間近で見たり、各楽器のソロ演奏を聴いていただきます。

●ミニコンサート

アンサンブルの演奏を聴いて、各楽器の音色違いを感じてみましょう。

●音楽の三大要素

「メロディー」「ハーモニー」「リズム」について、本公演の曲を使って解説します。

それぞれの要素が持つ役割を学び、違いを聴き比べてみましょう。

●共演曲指導 ※選択いただく曲に応じて、実施します。

本公演でオーケストラと共演する曲について、練習します。

A.合唱

歌うときの呼吸や姿勢、大切なポイント(発声・歌詞)など、プロのオペラ歌手が指導いたします。

アドバイスを受け、自分たちの音楽が変わっていく様子を感じてみましょう。最後は、アンサンブルの演奏に合わせて歌います。

B.手拍子リズム

まずは「好きな食べ物」「学校や地域の特産品」など子ども達が身近に感じるキーワードを取り入れ、グループ毎に即興のリズムを作ります。グループ毎に異なるリズムを一緒に演奏する時間を通じ、お互いのリズムを聴き合い、皆でひとつの音楽を創り上げる楽しさを学びます。

リズムワークの後、子ども達からアイディアを募り、その場で“学校オリジナルのリズム”を作ります。最後は、本公演での共演曲(アンサンブル演奏)に合わせて練習します。

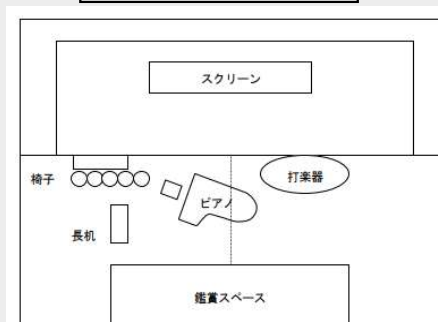
●質問コーナー 皆さんの質問にお答えします。

- ・ワークショップでは、ピアノ・プロジェクター・打楽器など、学校の備品をお借りいたします。
- ・参加人数が少ない場合は、自分の好きな場所からアンサンブル演奏を聴いていただくことも可能です。

歌唱指導の様子



ワークショップ配置例



その他ワークショップに関する特記事項等

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。
	上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。 任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。 詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。 なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

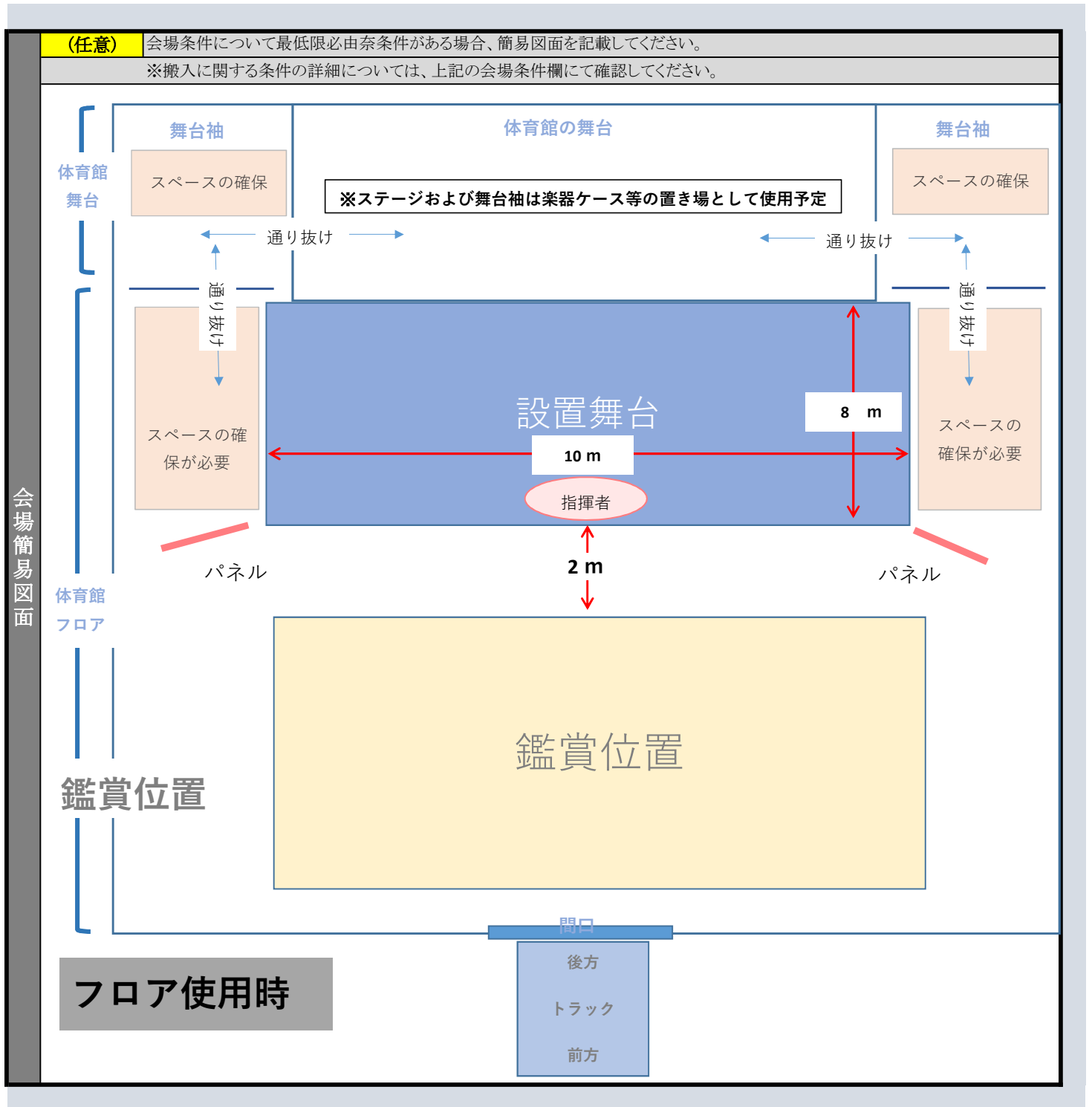
会場条件	(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
	会場の設置階の制限		2F以上応相談		主幹引き込み電源容量			A以上
	舞台設置面積	間口	10 m		奥行	8 m		
		高さ	m					
	舞台設置場所	フロア対応	可		学校のステージでの対応		不可	
	搬入間口の広さ	幅	1.8 m		高さ	2 m		
	遮光の要否	5割程度必要		緞帳の要否		有無のみ確認したい		
	ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定				
				ピアノを使用しない場合の移動の要否		要		
	搬入車両(トラック等)の横づけ	必須		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		50 m以内		
	搬入車両の種類	中型トラック		台数	1 台			
	搬入車両の大きさ	車幅	2.3 m		車長	6.3 m		
備考	搬入は、2tトラックロング(車高3,1m、全長6,3m、車幅2,3m 1台) トラックの横付けが出来ない場合、屋根があり平坦なルートが望ましいです。							

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
	会場図面の提出要否	要	
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	1～2時限程度	ワークショップ実施時間外の授業時間において	合唱の練習 ・ビリーブ ・翼をください ※学校による選択曲	音楽の教科書に掲載の楽譜を参照ください
ワークショップ						
本公演						
本公演						

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1	学校周辺道路について、搬入用の2tトラック、大型バス(または中型バス)は通行可能でしょうか。	
	2	控室(3～4部屋):指揮／ソリスト用の小部屋で1～2部屋、オーケストラ女性／男性で2部屋(各10～15名)、控室の確保をお願いいたします。	
3			



別添

なし

【公演団体名 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

本事業では、子どもたちが音楽・オーケストラ・オペラに親しみ、文化芸術への関心を深めるきっかけとなることを目指します。また、芸術に触れる機会を増やすことで、心豊かな人間形成へとつなげたいと考えています。

オーケストラとの共演を通じて、「他者と力を合わせて一つのものを創り上げる」体験から協調性や共感性が育まれます。さらに、オペラの物語や音楽が描く世界を想像することで養われる「想像力」や、歌詞の意味を考えながら歌うことで育まれる「表現力」など、子どもたちの感性を刺激し、創造的な思考力を育てることも目指しています。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

ワークショップでは、子どもたちと物理的・心理的に近い距離で交流することを重視し、興味・関心を引き出す工夫をしています。

本公演では、普段の生活の中でもよく耳にする曲を取り入れることで、自然に音楽に触れられるよう配慮しています。また、会場いっばいに響くオペラ歌手の歌声を体感することで、まるで本物のオペラハウスに足を踏み入れたかのような特別な体験を届けることができます。

これまでの公演で、楽団の持つアットホームで親しみのある雰囲気や子ども達への接し方について学校の先生方からも高く評価されており、オーケストラを身近に感じてもらえる大切な要素のひとつであると考えています。

子どもたちからは「オーケストラと一緒に校歌が歌えて嬉しかった」「もっと沢山の曲を聴いてみたいと思った」などの感想が寄せられ、学校の先生方からは「楽器への関心が高まり、休み時間に音楽室で楽器を演奏する児童がいた」「公演をきっかけに、学校の音楽会に向けてより意欲的に取り組むようになった」「五感で感じる体験が子どもたちに大きな刺激を与えていた」などの声をいただいています。

なお、小編成のオーケストラであっても、演奏の質を保つ工夫を重ねることで、大編成に引けを取らない音楽体験を提供しています。これにより、文化的な地域格差の解消にも貢献できるよう努めてまいります。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

開催決定後、メールとお電話でご担当の先生にご連絡させて頂き、今後の流れについて簡単にご説明します。より具体的にイメージして頂けるよう、学校目線でワークショップや本公演の流れを掴んでいただけるよう過去に開催した学校のホームページ等、例としてご紹介しています。

●ワークショップにむけて

準備として、確認事項をまとめた資料を事前にお送りしています。簡易的なプログラムを作成し、ワークショップの流れをイメージして頂きやすいように工夫しております。また、メールの文章だけではなく後日お電話でお話しすることで、コミュニケーションを図りながら信頼関係を築いていきます。

●本公演にむけて

ワークショップ前に、楽団独自のチェックシートをお送りすることで、当日の打ち合わせもスムーズに進められています。言葉や文字だけでなく、記録写真や簡単な舞台図などをお見せすることで、公演を視覚的に分かりやすく伝えられるよう、工夫しています。学校によって実施環境や要望が異なる為、丁寧な説明やヒアリングを行うことで、各学校に合わせた柔軟且つ臨機応変な対応が、事業を円滑に実施できることに繋がっています。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

先生方との事前の打ち合わせ時に、「端や後方での鑑賞」など大きな音が苦手な子ども達への配慮を伝えています。（体育館2階からの鑑賞や、リモートで鑑賞いただくことも可能です）

また特別支援校においても、プログラムの内容変更や公演時間短縮などそれぞれの学校の状況に応じて、実施校と相談しながら、フレキシブルに対応します。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

公演プログラムに記載の出演者プロフィールに、音楽との出逢いや幼少期のエピソードを取り入れています。音楽に関心を持つ児童・生徒が進路を考えるうえでのヒントとなるよう配慮しています。

別添

なし

【公演団体名 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 】

特別エリア区分で事業を実施するに当たっての工夫

①離島・へき地等における公演実績

2010年 高知県四万十市立蔵岡中学校
 2012年 熊本県天草市立牛深中学校
 2015年 鹿児島県志布志市立潤ヶ野小学校、鹿児島県和泊町立内城小学校
 2017年 沖縄県宮古島市立平良第一小学校
 2021年 奈良県十津川村立十津川第二小学校、山梨県甲府市立大藤小学校 他

2022年 秋田県潟上市立東湖小学校、秋田県仙北市立神代小学校、宮城県加田市立横倉小学校、宮城県加美町立賀美石小学校、宮城県村田町立村田第二中学校、熊本県八代市立泉小・中学校

2023年 島根県雲南市立海潮中学校、広島県北広島町立大朝中学校、奈良県野迫川村立野迫川小中学校、奈良県宇陀市立室生小学校

2024年 高知県の町立長沢小学校、徳島県吉野川市立山瀬小学校、兵庫県洲本市立安平小学校、兵庫県淡路市立北淡小学校、愛媛県松山市立栗井小学校

2025年 京都府南丹市、富山県氷見市、富山県立山町にて公演予定

【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】

・これまでの公演実績を生かし、出演者数を小規模にし、楽器以外の備品の物量を削減することにより、移動や運搬に制限がある地域においても、スムーズな移動・運搬が可能です。

・学校へトラックの乗り入れが出来ない場合は、条件が整う別会場での実施など柔軟に対応が可能です。

②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、当該地域、また特別エリア区分の企画に求められる要件を踏まえた上で、一般区分と同様の公演及びワークショップの質を保つための工夫

【質を保つための工夫】

・リダクションを施しても遜色のない曲で構成しています。

・各楽器の特性を生かす編曲により楽曲の質を保ちつつ、緻密でより一体感を感じ小編成のオーケストラならではの魅力をお届けします。

・打楽器においては、演奏効果の高い楽器を厳選し、楽曲オリジナルの魅力を保つ工夫をしています。

・オペラ歌手2名が出演することにより、プログラム構成が豊かになり、一般区分と同等にオペラの魅力も届けることが可能です。

・ワークショップについては、一般区分と同等の実施が可能です。

小規模学校の場合は、より演奏者に近い位置から各楽器の演奏を聴いていただけるよう配置を工夫しています。様々な角度から見聞きすることで「楽器について新たな発見や、子どもたちが自発的に興味を持つ機会に繋がっている」と学校の先生から嬉しい声も届いています。

また、物理的にも心理的にも距離感が近くなることにより、子ども達と積極的なコミュニケーションを取ることができ、更に一体感を感じる共演が実現しています。

③特別エリア区分応募における、費用面の工夫

・使用楽器を厳選することや、備品の物量を削減することにより、舞台スタッフ人件費・楽器運搬費が大幅に削減できます。

・出演者を小規模編成とすることで、出演料や旅費を抑えられます。

・ライブラリアンが舞台スタッフを兼任することで、人件費・派遣費が削減できます。

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.1

【公演団体名 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 】

団体構成員

- ◆名誉指揮者
飯森 範親／山下 一史／チャン・ユンスン
- ◆正指揮者
牧村 邦彦
- ◆コンサートマスター
赤松 由夏／日比 浩一
- ◆ヴァイオリン
赤松 由夏／池上 尚里／石田 優志／井上 なつき／景山 映子／高森 真貴子／寺川 碧
中川 芙美／日比 浩一／袋井 杏子／三浦 裕梨香／森田 真梨恵／山根 朋子／吉田 侑記
- ◆ヴィオラ
上野 亮子／灘儀 育子／福田 幸子／森永 愛子
- ◆チェロ
上塚 憲一／川畑 享子／後藤 敏子／松村 和美／皆川 隼人／柳瀬 史佳／山岸 孝教
- ◆コントラバス
尾崎 果苗／増田 友男／三井 脩平
- ◆フルート
江戸 聖一郎／長山 慶子／菱田 弓子
- ◆オーボエ
島迫 温子／福田 由美
- ◆クラリネット
神田 千寿花／松尾 依子／吉延 勝也
- ◆ファゴット
岡本 真弓／錦織 景子／宮本 謙二
- ◆ホルン
池田 重一／川村 真菜美／西 陽子／伏見 浩子／藤田 彩花
- ◆トランペット
茶屋 淳子
- ◆トロンボーン
岡村 哲朗／松下 浩之
- ◆バス・トロンボーン
織田 貴浩
- ◆テューバ
澤村 隼
- ◆打楽器
安永 早絵子
- ◆ハープ
山根 祐美